

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年2月3日(2011.2.3)

【公開番号】特開2009-182541(P2009-182541A)

【公開日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【年通号数】公開・登録公報2009-032

【出願番号】特願2008-18449(P2008-18449)

【国際特許分類】

H 04 M 3/00 (2006.01)

H 04 L 12/56 (2006.01)

【F I】

H 04 M 3/00 B

H 04 L 12/56 400 A

H 04 M 3/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

音声を含むマルチメディア通信の制御にSIP(Session Initiation Protocol)を利用するIMS[IP(Internet Protocol) Multimedia Subsystem]ノード装置であって、

隣接するノード装置に対してヘルスチェックを実施するヘルスチェック手段と、前記ヘルスチェック手段によるヘルスチェックの結果に基づいて前記隣接するノード装置の障害状態を認識する認識手段とを有することを特徴とするIMSノード装置。

【請求項2】

前記ヘルスチェック手段は、SIP OPTIONSメソッドによるヘルスチェックを実施することを特徴とする請求項1記載のIMSノード装置。

【請求項3】

前記認識手段は、前記隣接するノード装置において、ユーザからの発信サービス要求時及びユーザへの着信要求時に発着信サービスが提供できない状態であることを認識することを特徴とする請求項1または請求項2記載のIMSノード装置。

【請求項4】

前記認識手段で前記隣接するノード装置の障害状態を検出した時に再リストレーションによる迂回制御を行う再リストレーション手順実施手段を含むことを特徴とする請求項1から請求項3のいずれか記載のIMSノード装置。

【請求項5】

上記の請求項1から請求項4のいずれかに記載のIMSノード装置を含むことを特徴とするIMSネットワーク。

【請求項6】

音声を含むマルチメディア通信の制御にSIP(Session Initiation Protocol)を利用する複数のIMS[IP(Internet Protocol) Multimedia Subsystem]ノード装置各々が、

隣接するノード装置に対してヘルスチェックを実施するヘルスチェック処理と、前記へ

ルスチェック手段によるヘルスチェックの結果に基づいて前記隣接するノード装置の障害状態を認識する認識処理とを行うことを特徴とするサービス提供方法。

【請求項 7】

前記ヘルスチェック処理において、SIP OPTIONSメソッドによるヘルスチェックを実施することを特徴とする請求項6記載のサービス提供方法。

【請求項 8】

前記認識処理において、前記隣接するノード装置において、ユーザからの発信サービス要求時及びユーザへの着信要求時に発着信サービスが提供できない状態であることを認識することを特徴とする請求項6または請求項7記載のサービス提供方法。

【請求項 9】

前記複数のIMSノード装置が、前記認識手段で前記隣接するノード装置の障害状態を検出した時に再レジストレーションによる迂回制御を行う再レジストレーション手順実施処理を実行することを特徴とする請求項6から請求項8のいずれか記載のサービス提供方法。

【請求項 10】

前記複数のIMSノード装置が、P-CSCF (Proxy-Call Session Control Function) 及びS-CSCF (Serving-Call Session Control Function) のいずれかであり、呼制御を行う前記S-CSCF及びAS (Application Server) の障害状態を検出することを特徴とする請求項6から請求項9のいずれか記載のサービス提供方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明によるIMSノード装置は、音声を含むマルチメディア通信の制御にSIP (Session Initiation Protocol) を利用するIMS [IP (Internet Protocol) Multimedia Subsystem] ノード装置であって、

隣接するノード装置に対してヘルスチェックを実施するヘルスチェック手段と、前記ヘルスチェック手段によるヘルスチェックの結果に基づいて前記隣接するノード装置の障害状態を認識する認識手段とを備えている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

本発明によるIMSネットワークは、上記のIMSノード装置を含むことを特徴とする

。